

平成27年4月2日「子供の未来応援国民運動」発起人集会 安倍総理ご発言内容
(官邸ホームページより)

- 子供の貧困は、頑張れば報われるというまっとうな社会の根幹に関わる問題です。子供達の未来が、家庭の経済事情によって、左右されることがないように、社会を挙げて取り組んでいきたいと思えます。
- 今年度予算案では、学校を貧困対策のプラットフォームとし、スクールソーシャルワーカー、中学生向けの原則無料の学習支援等を大幅に拡充していきます。また、経済事情により、進学を諦めることのないよう、高校生向けの奨学給付金、そして大学の無利子奨学金や授業料減免等の充実にも取り組んでいきます。
- 今後更に、就労しながらも、経済的に厳しい一人親家庭や多子世帯の自立を応援していく必要があります。子育て、生活、就業、経済面などについて一層の充実を図っていくとともに、支援を必要とする家庭に対し、行政の支援が確実につながる仕組みを整えていく必要があります。
- 厚生労働大臣を始めとする関係閣僚に対し、充実施策の検討を指示し、夏を目途にその方向性を取りまとめ、年末を目途に財源確保を含めた政策パッケージを策定していきます。
- 既定の予算を社会保障、教育関係を含めて見直しをしていき、社会全体で子供の育ちを支える仕組みを作っていきたいと思えますので、経済界の皆様にも従来にも増してお願いをしたいと思えますのでよろしくお願いいたします。
- 更に、地方公共団体においても、是非、子供の貧困対策の計画を作っていただき、地域の企業やNPOと手を携えて、支援に取り組んでいくようお願いいたします。
- どんな環境にあっても、自分の将来に目標を持って、夢を持って、その夢に向かって歩いていくことのできる日本にしていきたいと思えますし、日本をそういう国にしていけない限り、日本の未来はないんだろう、こう思っているんです。そのためにも、みんなで力を合わせていく必要があります。
- 今日正にその意味で、各界からこうしてお集まりをいただきました。大変心強く思えます。皆さん心をつにして、誰にでもチャンスのある、活力に満ちた優しい、そして明るい、強い日本を作っていこうではありませんか。どうぞ皆様よろしくお願いを申し上げます。